

目標達成計画

作成日: 令和2年2月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年に6回開催している運営推進会議の地域の方の参加メンバーが少ない。	地域の中の福祉施設として、認知症ケアや認知症の理解・接し方の啓発を広げる。	いきいきサロン、地域文化祭への参加等の地域との交流で、地域の方にも運営推進会議への参加を呼びかける。 民生委員やシニアクラブ会長の運営推進会議への参加によって、地域の方々にも認知症で困っている方々への参加を促していく。	12ヶ月
2	6	身体拘束を排除するために実施される、身体拘束委員会の構成メンバーが固定化されている。	3か月に1度の身体拘束委員会に、管理者、介護職員、計画作成担当者も参加し、利用者の人権擁護理解を深める。	身体拘束委員会に職員が参加できるように、勤務シフトの調整をする。 委員メンバーは、キャリアパス研修等の外部研修を受講し、内容を委員会で発表することにより、第三者の知見者の情報を共有する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。